

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域の回覧板を使って3ホーム合同の夏祭りを広報した。例年通り、太鼓保存会や民謡ボランティア、地域の子供たちの参加でにぎわった。屋台ではボランティアの人たちが大活躍した。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	規定回数の実施がないが、運営推進会議の内容は濃い。スライドを使って、認知症やホームの現状を理解してもらおうとの努力が見られる。参加した地域代表から、「何か協力できるのでは？」との言葉も出た。	×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	ホーム(管理者)と市・担当者との直接的な関係はないが、ホームが法人本部と同居するため、行政との折衝は本部の事務方の役割となっており、良好な関係を構築している。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	昨年、一昨年と様変わりして、家族全員からアンケートの回答があった。ほとんどの家族がコメントを記述しており、関係の深まりが感じられる。休刊中であった「やまと通信」が復刊し、家族に情報を伝え出した。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営推進会議の規定回数実施が課題となっており、徐々に回数を増やしていくことが望ましい。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。